

英語科学習指導案

《椿森中学校 研究計画》

学校研究主題： 豊かな人間性を育む教育の創造

—学ぶ喜びを体感させる学習指導とキャリア教育の推進—

英語科研究主題： 基礎・基本の定着を通して、発信力を高めるための指導法の工夫

展開学級： 3 年 2 組

展開場所： 3 年 2 組教室

授業者： 中澤 早苗

授業展開： 14:00～14:50 (東棟 2 階 3 年 2 組教室)

研究協議： 15:00～16:30 (図書室)

英語科 研究計画

千葉市立椿森中学校

1 研究主題

基礎・基本の定着を通して、発信力を高めるための指導法の工夫

2 研究主題解明の視点

- (1) 毎授業で基礎・基本の定着を図る活動を継続的に行う。
- (2) 情報を発信しやすくなるような教材を活用する。
- (3) 話す・書くなどの表現活動を定期的に設け、発信する機会を計画的に設定する。
- (4) インプットを増やすために、聞く活動を多く設定し理解度を高める。
- (5) 掲示物などを工夫し、他の生徒が発信した内容を共有させ、学び合い活動に発展させる。

3 研究内容・方法

- (1) 計画的に教科部会を運営し、教師間の共通理解を図る。
- (2) 生徒の実態、題材に応じた指導法の研究に努め、日常の授業実践を通して主題に迫る。

4 研究計画

月	内 容
4	研究計画、年間指導計画作成
5	英語主任研修会
6	研究の実践 市教研授業
7	英語発表会出場生徒選抜・指導 評価方法についての検討
8	自己表現の場面設定についての研修
9	千葉市英語発表会参加、実践の改善と修正
10	研究の実践
11	指導案検討、小中連携授業準備
12	検証授業と反省、小中連携授業、小学校授業参観
1	ALT との授業実践 研究紀要の原稿内容検討会⇒第1次原稿提出
2	研究実践のまとめ
3	次年度の研究内容の検討

英語科学習指導案

日 時 平成 28 年 6 月 21 日(木)5 校時
展開学級 千葉市立椿森中学校 3 年 2 組
展開場所 3 年 2 組
授 業 者 中澤 早苗

単元名 NEW CROWN 3 Let's Talk ② どうかしましたか

1 単元の目標

- (1) 相手の体調をたずねたり、自分の病状を説明したりすることができる。
- (2) 間違えることを恐れずに積極的に会話を行おうとしている。
- (3) What's wrong? や I have ～. を用いて会話をすることができる。

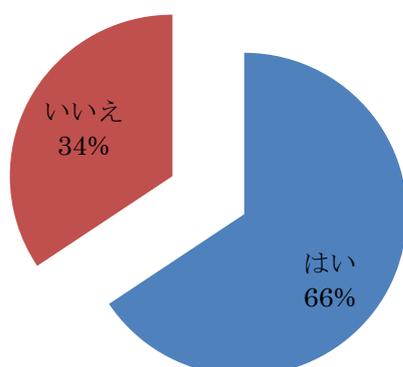
本単元では、相手の病状をたずねたり、自分の体調を説明したりする場面の表現を学ぶ。相手の体調を気遣ったり、自分の体調が悪い時に適切に説明してアドバイスを受けたりすることは、日常の中では頻繁に起こりうることである。また将来、旅行などで海外を訪れた時に旅先で具合が悪くなったりすることもじゅうぶん起こりうるため、自分の病状を説明する表現を身につけさせておくことは重要なことである。そこで今回は What's wrong? を用いて相手の体調を尋ねる表現や、I have～. で自分の体調を説明する表現などの基本的な表現を身に付けさせるとともに、ペアでのロールプレイングを通してコミュニケーション能力を養う。

2 生徒の実態 (第3学年2組 男子18名、女子17名)

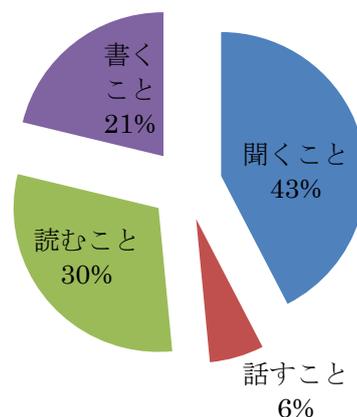
本授業クラスは、英語の授業に積極的に取り組む生徒多く、ペアやグループなどのコミュニケーション活動なども、互いに協力して意欲的に活動することができる。一方で、英語学習に対するアンケートの結果から、「書くこと・話すことが苦手」と答えた生徒の割合が高いが、一番伸ばしたいと思っている生徒も多い。そこで、ペアやグループでの言語活動を通して、コミュニケーションすることの楽しさなどを味わせながら、発信力や表現力を養っていきたいと考えている。そして本単元では、基礎的な表現のパターンプラクティスを中心に行うとともに、ペアワークを通して積極的に会話をしようとする態度を養い、表現力を高めていきたい。

< 3年2組 英語学習のアンケート結果 >

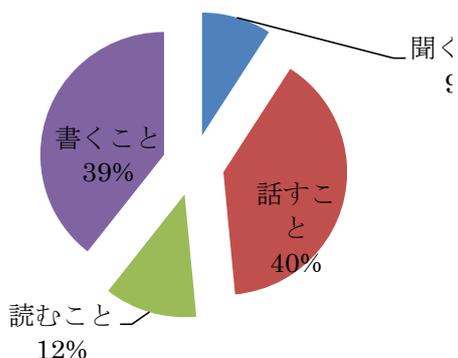
(1) 英語学習が好きですか



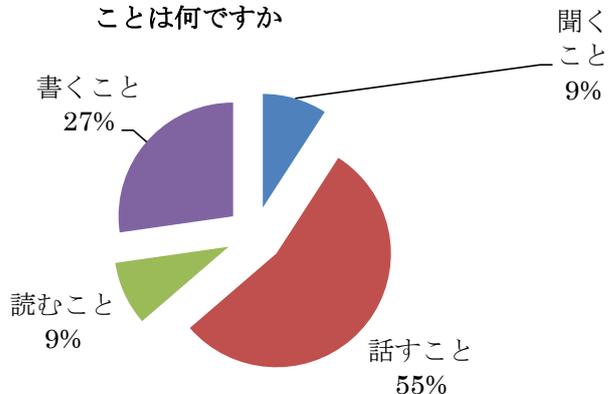
(2) 英語学習において一番得意なことは何ですか



(3) 英語学習において一番苦手なことは何ですか



(4) 英語学習において一番伸ばしたいことは何ですか



3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違ふことを恐れずに積極的に会話をしようとしている。	相手の体調を尋ねたり、自分の病状を説明したりすることができる。		What's wrong?や I have～.を用いて、会話をすることができる。

4 指導と評価の計画 (2時間)

	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1 本時	○What's wrong? や I have ～. 用いて会話をする。 ○間違ふことを恐れずに積極的に会話をする。	エ ア	活動の観察
2	○相手の体調を尋ねたり自分の病状を説明したりするオリジナルの会話を、ペアで作って発表する。 ○間違ふことを恐れずに積極的に会話をする。	イ ア	活動の観察 ワークシート提出

5 本時の授業 (1/2)

(1) 本時の目標

- ①What's wrong? や I have ～.を用いて会話をすることができる。 (言語や文化についての知識・理解)
- ②間違いを恐れずに積極的に会話をすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

学習過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
Greeting Warm-up (7分)	○英語で挨拶をする。 ・ Good afternoon, everyone. ・ How is the weather today? ・ What day is it today? ○英単語ビンゴを行う。(Body parts)	・英語を学習する雰囲気をつくる。	

<p>導 入 (3分)</p>	<p>○Kumi と Ms Brown の絵を見て教師の質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Who are they? - They're Kumi and Ms Brown. • Where are they? - They are at school. • What is Kumi doing? -She is putting her hand on her head. • Does Kumi look happy? - No, she doesn't. She looks sick. <p>T : Yes. She looks sick. What does Ms Brown say to Kumi. Please guess and let's check today's skit.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 質問に答えさせながら、どういう状況なのか考えさせる。 • Kumi は具合が悪いということに気づかせる。 	
<p>展 開 1 (10分)</p>	<p>Today's Goal: 相手の体調をたずねたり、自分の症状を説明したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の目標を知る。 ○会話の流れを予測して、バラバラになったセリフを並べかえる。 ○スクリーンで会話文を確認する。 ○New words の発音練習と意味の確認をする。 ○Talking Point の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What's wrong? B : I have a <u>headache</u>.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○本文の内容について質問に答える。 <ul style="list-style-type: none"> • What's wrong with Kumi? • What did Ms Brown say to Kumi. ○モデルリーディングの後、音読練習をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 一斉 2) ペア 1 ⇒ ペア 2 	<ul style="list-style-type: none"> • What's wrong? は最初に言うこともあるので、教科書どおりでなくてもよいことを伝える。 • 具合の悪い人への声かけや返答などについて気づかせる。 • 机間指導をし、音読ができていない生徒に助言する。 	
<p>展 開 2 (28分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ headache 以外の症状について知る。 <ul style="list-style-type: none"> • 絵と英文を確認し、発音練習をする。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> • I have a stomachache. • I have a toothache. • I have a fever. • I have a cold. • I have a nosebleed. • I hurt my arm. • I sprained my ankle. • I feel sick. </div> ○ペアで絵カードを使って練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> • 教師の英語を聞いて絵カードを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 発音の難しい語が多いのでゆっくりと発音し、じゅうぶん口ならしをさせる。 • やり方を教師がモデルで示す。 	

	<p>○具合が悪い人への声かけやそれに対する返答について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> -That's too bad. -Are you okay? - You should go to the nurse. - You should go to the doctor. - You should go home. - You should take a rest. - Take care. - Thank you. <p>○絵カードや他の表現なども用いてペアで会話をリメイクする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 場面設定や症状を変えてみる。 2) ジェスチャーを用いて会話する。 3)プリントを見ないでできるように練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の本文中の語句の他にも言えそうな表現をあげさせて確認する。 ・期間指導をし、適宜助言する。 ・工夫した点などを評価する。 	
挨拶 (2分)	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の内容の予告をする。 ・挨拶をする。” See you Ms Nakazawa." 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回グループ内での発表をすることを伝える。 	

(3) 評価

①What's wrong~? や I have ~. を用いて会話をすることができたか。

(言語や文化についての知識・理解)

②間違いを恐れずに積極的に会話をすることができたか。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

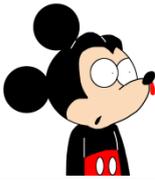
1. Let's check it out!

Kumi : Ms. Brown, I don't feel well.
 Ms Brown: **What's wrong?**
 Kumi : **I have a headache.**
 Ms Brown: That's too bad.
 You should go to the nurse. I'll take you.
 Kumi: That's kind of you.

2. New words

feel well wrong headache That's too bad. should nurse
 go to the nurse That's kind of you.

3. What's wrong?

<p>I have a stomachache.</p> 	<p>I have a toothache.</p> 	<p>I have a fever.</p> 	<p>I have a nosebleed.</p> 
<p>I have a cold.</p> 	<p>I sprained my ankle.</p> 	<p>I hurt my arm.</p> 	<p>I feel sick.</p> 

4. Let's make a skit with your partner.

A () : I don't feel well.

B () : What's wrong?

A () : _____

B () : _____ You should _____

I'll take you.

A () : _____ .

Let's try!
 ☆ Don't be shy.
 ☆ Eye contact.
 ☆ With gesture.

<Other phrases> Are you okay? / Take care. / Thank you.
 take a rest / go to the doctor